

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	輪之内町	学校名	輪之内町立仁木小学校			
校長名	新田 直	対象学年	3年～6年	人数	151名	
活動名	総合的な学習の時間	時間数	各学年70時間	継続年数	14年	
題材	① 自然環境（河川） [大樽川等] ② 歴史（出来事・先人・その他） [9.12水害] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [ ] ④ 地場産業（農業） [懸崖菊、アイガモ米] ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [デイサービスセンター等] ⑥ その他（ ） [ ]					
複数年継続するための工夫改善	○学びが持続するように探究のスパイラルを意識した単元指導計画を作成し、地域素材や地域人材を効果的に位置づけた。 ○学んだことを豊かに表現、発信できるように、また、学びの変容、自己の成長が自覚できるようにポートフォリオを核とした評価を続けた。					
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとを知り、学び、愛し、誇りに思える子の育成</li> <li>・地域に関わる課題を意欲的に追究し、自分の思いや考えを豊かに表現できる子の育成</li> </ul> <p>2 活動の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年「ふるさと仁木の町じまん～つなごう未来へ～」 → 神社や町特産品の調査、懸崖菊作り、市場調査、PR活動</li> <li>・4年「川と生きる輪之内町」 → 洪水・治水の歴史、川の生物・環境調査、グラウンドワーク活動、PR活動</li> <li>・5年「農業復活の救世主への道」 → 無農薬アイガモ農法による米作り、アイガモ米と農業活性化策のPR活動</li> <li>・6年「共に生きる」 → 高齢者・障がい者理解、デイサービスセンター等での交流活動、PR活動</li> </ul> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年は懸崖菊組合の協力により、自分たちで懸崖菊を育てた。町主催フェスタへ市場調査に出かけ、アンケート調査を実施した。調査結果を基にPR作戦を考え、実行中。</li> <li>・4年はグラウンドワーク実行委員会の協力で、環境美化・保全の現状を知った。自分たちでも調査に出かけ、調査結果を基に自分たちでできることを決め、パンフレットを作成して情報発信を計画。</li> <li>・5年はJAや地元農家の協力で、近辺では本校だけが取り組んでいる無農薬アイガモ農法により収穫した米を、全校児童・保護者に食べてもらったり、町内施設、被災地などへ送ったりすることでPR活動に努めている。</li> <li>・6年は社会福祉協議会の協力で、デイサービスセンターを利用する高齢者と何度も交流活動を実施。よりよい交流にするために担当職員を講師に招き、交流内容を工夫。</li> </ul> <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと輪之内」のよさ、素晴らしさを体験活動や携わる人々から五感で感じ取ることができた。これまでの自分自身の見方や考え方が変容したことがポートフォリオにまとめられている。</li> </ul>						